

令和5年度の取り組みについて（地球温暖化対策推進事業）

1 事業目的

2050年ゼロカーボンシティの実現のためには、市・市民・事業者の各主体が協働して再生可能エネルギーの活用、省エネルギーの推進に取り組む必要があります。

地球温暖化対策推進事業では、本市の温室効果ガス排出量の削減を促進するため、令和5年度から令和7年度までの3年間で新たな脱炭素化促進事業を実施し、民生部門・運輸部門・産業部門それぞれに対して支援を行います。

2 事業内容

（1）民生部門

太陽光発電システム及び蓄電池システムの設置にかかる補助について、令和5年度からは太陽光発電システムの単体設置についても補助対象とし、民生部門における再生可能エネルギーの一層の導入促進を図ります。

（2）運輸部門

次世代自動車（電気自動車、プラグインハイブリッド車）及びV2H充放電設備（※）の購入補助を引き続き行うとともに、令和5年度より新たに市内中小事業者向けに白ナンバーの環境配慮型トラック（天然ガストラック、ハイブリッドトラック）導入に対する補助事業を実施します。

※「V2H充放電設備」の「V2H」とは、「Vehicle to Home」を略したもので、電気自動車等のVehicle(車)に搭載されている蓄電池の電力（直流）を、交流に変換してHome(家)に供給したり、逆の変換を行い家庭用電源から電気自動車等への充電も行う装置。

（3）産業部門

市内中小事業者の脱炭素化を支援するため、再生可能エネルギー設備（太陽光発電設備等やそれに付随する・蓄電池・V2H充放電設備）や省エネルギー設備（高効率空調機・LED・燃料電池等）導入に対する補助を実施します。

3 補助金予算額

対象部門	事業内容	予算額
①民生部門	家庭用太陽光発電システム・蓄電池システム設置補助 <u>※太陽光発電システムの単体設置に対しても補助</u>	7,500千円
	(内 訳) (1) 家庭用太陽光発電システム 20千円/kw(上限50千円) ×100件 (2) 蓄電池システム設置補助 50千円 × 50件	5,000千円 2,500千円
②運輸部門	電気自動車等購入補助(市民及び事業者向け)	13,000千円
	(内 訳) (1) 電気自動車 100千円 ×95台 200千円(V2Hと同時購入時)× 5台 (2) プラグインハイブリッド車 50千円 ×15台 150千円(V2Hと同時購入時)× 5台 (3) V2H充放電設備 100千円 ×10台	9,500千円 1,000千円 750千円 750千円 1,000千円
	中小事業者向け環境配慮型トラック(天然ガストラック、ハイブリッドトラック)(白ナンバー)導入補助	2,070千円
	(内 訳) (1) 新車 ・4t 未満の塵芥車以外 380千円 ・4t 以上の塵芥車以外、塵芥車 1,000千円 (2) 中古車 ・塵芥車以外 190千円 ・塵芥車 500千円 ※ 補助対象車両は専ら高砂市内を走行する車両 ※ 中古車は前使用者が初度登録使用者であること (ディーラー等を除く)	

対象部門	事業内容	予算額
③産業部門	中小事業者向け脱炭素化設備等導入促進補助 (補助対象事業の実施期間:2か年度以内) ※設備費に対し、上限10,000千円を補助	50,000千円 ※うち30,000千円を債務負担行為で計上
	(対象設備) (1) 再生可能エネルギー設備(太陽光発電設備・蓄電池等)	
	投資額(工事費等を含む)100万円あたり 年間1t-CO ₂ 以上の削減効果がある設備	設備費の2/3 以内
	(2) 省エネルギー設備(高効率ボイラー・高効率空調機等)	
	投資額(工事費等を含む)100万円あたり 年間2t-CO ₂ 以上の削減効果がある設備	設備費の1/2 以内
	※ 設備費以外(工事費・解体撤去費等)は補助対象外 ※ 消費税額は補助対象外 ※ 中古設備、リース契約による設備の導入は補助対象外	
予算額計		42,570千円

4 令和5年度実績(令和6年1月31日現在)

家庭用太陽光発電システム・蓄電池システム設置補助 (単位:件)

蓄電池のみ	太陽光のみ	蓄電池+太陽光	合計
19	8	21	48

電気自動車等購入補助(市民及び事業者向け) (単位:件)

EV	PHEV	V2H	EV+V2H	PHEV+V2H	合計
35	20	3	1	0	59

中小事業者向け環境配慮型トラック(天然ガストラック、ハイブリッドトラック)(白ナンバー)導入補助
⇒ 申請実績なし

中小事業者向け脱炭素化設備等導入促進補助 (単位:件)

LED化	太陽光設置	LED化+太陽光設置	合計
1	4	1	6